



税の申告や納付に関して思ったこと

大田区立大森第七中学校 三年 小寺 杏

税の申告や納付について考えると、私達の生活における税の重要性やその仕組みについて理解を深める良い機会だと感じます。税金は、私達の社会を支える基盤であり、公共サービスやインフラの維持に欠かせない資源です。しかし、税の申告や納付は多くの人にとって難解で、時には面倒に感じられることもあります。

まず、税金の基本的な役割について考えてみましょう。税金は、政府が国民に提供するサービスやインフラを支えるための資金です。教育、医療、交通、治安など、私達の生活に欠かせない要素は全て税金によって賄われています。そのため、税金を納めることは、社会の一員としての責任でもあります。

中学生の私達にとって、税金について学ぶことは非常に重要です。将来に社会人になった時、税金の仕組みを理解していないと、適切な申告や納付ができません、トラブルに巻き込まれる可能性があります。例えば、給与から天引きされる所得税や、消費税など、日常生活で目にする税金について知識を持っていることは、自己防衛にも繋がります。

税の申告や納付のプロセスは、初めて触れると複雑に感じるかもしれ

ません。特に、確定申告や青色申告など、さまざまな種類があり、それぞれ異なるルールや期限があります。しかし、これらのプロセスを理解することで、自分の権利を守ることができ、また、税金を納めることができるようになります。例えば、必要経費を適切に計上することで、納税額を減らすことができる場合があります。

また、税金に関する教育が学校で行われることは、非常に意義深いことだと思います。授業を通じて、税金の仕組みやその重要性を学ぶことで、将来の納付者としての意識を高めることができます。さらに、税金の使い道についても学ぶことで、納税の意義を実感し、社会貢献の一環として税金の役割を理解することができるでしょう。

一方、税金に対するネガティブなイメージも存在します。特に、税金が無駄に使われていると感じることがあると、納税意欲が低下することもあります。これを解消するためには、税金の使い道に対する透明性を高め、納税者がその使い道を理解できるように仕組みが必要です。例えば、税金がどのように使われているのかを示す報告書や、公共事業の成果を示すデータなどがあれば、納税者は自分の税金がどのように社会に還元されているのかを実感しやすくなります。

最後に、税金について理解を深めることは、将来の社会人としての準備だけではなく、社会全体の健全な発展にも寄与することになります。税金は私達の生活に密接に関わっているものであり、その仕組みを理解し、適切に納付することは、私達一人一人の責任です。税金について知識を深め、未来の納税者としての意識を高めていきたいと思っています。